

地域共生型福祉施設

やすらの里だより

2017年10月 No.12

発行者：やすらの里広報委員会

地域に根ざしたステーションとして

公益社団法人 京都府看護協会 天の橋立訪問看護ステーション

管理者 三宅 佳代子

天の橋立訪問看護ステーションが設立して20年になります。この間、地域の皆様や関係者の方々に支えて頂きながら活動をしてまいりました。

開設した平成9年と言いますと、消費税が5%に引き上げられ、医療面では臓器移植法が施行となつていきます。そのような時代で、介護保険制度もなく、医療機関・福祉施設も乏しいこの地域で歩みを始めました。設立できました背景には、当時の与謝の海病院の院長をはじめ、旧岩滝町町長様、多くの皆様方の支援があったからこそと思っております。

当ステーションの基本理念は、1. 利用者の生命の安全 2. 笑顔・誠実・責任も持ってサービスを提供する 3. 地域に根ざし地域に貢献する この3つの基本理念に、『看護職能団体として地域の方々への看護の提供による貢献、在宅看護の質の向上と円滑な看護提供を活動の基本として在宅ケア・医療関係職種との連携を密にしてより地域に根ざしたきめ細やかな看護の実践を第一に活動する』という活動方針の元歩んでまいりました。

当初4人の看護師で歩み始めましたが、現在は13人の看護師、2名の理学療法士、2名の作業療法士、事務職2名の19人の大所帯で活動しております。関係機関・関係職種の皆様には周知されてきましたが、まだまだ地域の皆様への認知度は低いと感じております。

世間で言われている2025年問題は、当地域ではすでに起こっていて先駆的の地域と言えます。地域で療養される方が増えていくと思われまますので、利用者のニーズに応える事が出来るよう日々努力していきたいと思っております。今後とも天の橋立訪問看護ステーション並びにサテライトのりをよろしくお願い申し上げます。

◎最近のイベント◎

・フラダンスボランティア (8/12)

特養職員のお孫さん達がフラダンスを披露して下さいました。大阪在住の息子さんのお嫁さんとお子さん達で、毎週のように色々な施設で踊っておられるそうです。お嫁さんが「お義母さんが在職中にやすら苑で踊りたい」と言われ実現しました。お嫁さんも「皆さんの喜ばれる顔を見るととても嬉しいです」と言われていました。



・オオツキ移動販売 (9/11)

入所者様や職員を対象とした衣類等の訪問販売がありました。作業着で有名な「オオツキ」様の提案により開催し、普段“服を自分で見て自分で選ぶ”という機会のない入所者様にとって、とても良い機会になりました。



やすら苑

〈つばき夏祭り〉

つばき一番地では例年ユニットで夏祭りを実施しており、今年も4組のご家族に参加して頂き8月27日に開催しました。祭りの雰囲気を出して頂けるようにご利用者と一緒に飾り付けの準備をしました。当日は提灯や団扇も飾り、職員の手作りの割箸鉄砲的あてや輪投げ、魚釣りなどの遊びのコーナーを設けて法被姿の男性職員や実習生、ユニット職員全員で盛り上げてご家族と一緒に楽しい時間を過ごして頂く事が出来ました。夕食後には手持ち花火や打ち上げ花火で童心に戻って時間を忘れて過ごして頂き、笑顔いっぱい楽しい一日を送ることが出来ました。



やすらの旋風^{かせ}

〈訪問介護〉

『ヒヤリハット』とは、事故に繋がるかも知れない「ヒヤリ」や「ハッ」とした出来事を指しますが、『ニヤリハット』をご存知ですか？ それはふとした会話ややり取りをプラス思考でとらえ、良い部分や強みに目を向けて「ニヤリ」としたり「ホッ」とする事を言います。

ご主人に先立たれ、数十年独居生活のAさん。物忘れも多くなり、ご家族からの依頼で訪問させて頂く事になりました。が…、長年一人で生活してこられた自負もありヘルパーを受け入れてくれません。初めは玄関にさえ入れてもらえませんでした。が、根気よく訪問を重ねるうちに上がらせて下さるようになり。最近では「まあ〜上がって〜」「いっつも悪いなあ」「あんたは私の好きな物ばかり買って〜」と「〜」と喜んで下さいます。心が折れそうな時期もありましたがめげずに訪問した甲斐があり、思わず「ニヤリ」としてしまいます。



ワークセンター 花音

〈絵手紙をみんなで!〉

ワークセンター花音では開所以来毎年加悦地区の文化祭に展示物を出させて
いただいています。今年も9月の取り組みで絵手紙と塗り絵を作成し展示して
頂こうと思います。

10月の文化祭には仲間みんなで加悦公
民館に作品を見に行くのを楽しみにして
います。

素晴らしい作品が出来ました。
みなさん見に来てね。



みんな頑張って作品を作りました。

職員紹介

①法人名 ②所属 ③氏名 ④ひとこと



- ① よさのうみ福祉会
- ② ワークセンター花音「喫茶」支援員
- ③ 岡田 真弓 (おかだ まゆみ)
- ④ いろいろな状況を抱えた利用者さんたちと関わりながら毎日楽しく仕事が出来て、その中でしっかり力をつけてもらえるように支援していきたいと思います。



- ① 丹後福祉応援団
- ② 訪問介護事業所 サービス提供責任者
- ③ 木村 薫 (きむら かおる)
- ④ 利用者様の生活の中で“出来にくい事”をお手伝いさせて頂いています。訪問した時に笑顔が見られ、穏やかな生活を送って頂けるように頑張っていきたいです。



- ① 与謝郡福祉会
- ② やすら苑 介護職 つばき二番地 係長
- ③ 倉 英昭 (くら ひであき)
- ④ 岩滝あじさい苑から異動し、1月からお世話になっています。少しずつ環境にもなれてきましたが、まだまだご迷惑をおかけすることもあるため、ご利用者の方のお役に立てるよう日々頑張っていきたいです。

サテライトのみり

「思いやりの気持ち」

私事ではありますが、8月の終わりに体調不良の為入院し、10日あまり仕事を休みました。突然の出来事で、家族や職場、訪問予定の利用者さんに迷惑をかけました。今まで体調不良で休んだことがない健康体!! 入院や仕事を休んだことで、いろいろ考えて、感じて、経験して…。いい人生勉強ができました。



入院は、さみしく不安。家の布団でぐっすり寝たい。看護師さんの優しい言葉や対応にほっとする。お父さん、子どもたち不自由だろうな。家のこと、気になるし帰りたい。仕事の段取り、私の訪問まで行ってもらいたい忙しいだろうな。チームワークに感謝。

仕事復帰した時は、周りの人からの温かい言葉やメッセージ。無理をしないよう気遣ってもらい、心や体が弱っているときに、優しくしてもらえると、こんなにうれしい。元気であることのありがたさ。健康が一番!! 改めて実感できました。

利用者の家族さんから、「いつも元気そうなのに休みなんで珍しいから心配した。このまま来てもらえなくなったら、これからどうして暮らしたらいいのか不安になった。ほんまに元気になって良かった」…涙が出そうになりました。

元気で仕事ができること、いろいろなことに感謝して、これからも訪問したいと思っています。

地域共生型福祉施設 やすらの里

〒629-2403 京都府与謝郡与謝野町字加悦802番地7

社会福祉法人与謝郡福祉会 特別養護老人ホームやすら苑 特定非営利活動法人丹後福祉応援団 在宅複合型施設やすらの旋風
 施設長 大谷 克則 理事長 三井 真里
 ☎ 0772-43-2500 Fax 0772-43-2501 ☎ 0772-44-1122 Fax 0772-44-1155

社会福祉法人よさのうみ福祉会 ワークセンター花音 京都府看護協会天の橋立訪問看護ステーション サテライトのみり
 管理者 平井 弘美 管理者 三宅 佳代子
 ☎ 0772-44-0022 Fax 0772-42-2022 ☎ 0772-43-0225 Fax 0772-42-0226



編集後記

子どもの体育祭がありました。競技や応援合戦、見ごたえがありました。

優勝したチームのうれし涙、負けたチームの悔し涙。一生懸命頑張ったからこそその涙に、親たちも感動の涙でした。これからも、いっぱい応援したいと思います。

広報委員 K.D.

